

普及活動情勢報告（平成21年9月分）

安芸農業振興センター

情勢報告

奈半利町のイチジクを増やしましょう！！



9月3日イチジクの栽培説明会を行いました。奈半利町では、以前から町の特産品としてイチジクを掲げて振興してきましたが、最近では高齢化などによりイチジク部会は3名に減るなど寂しくなっていました。

そこで、町では産業振興計画に載せ、活性化に向けて取り組むことになりました。振興センターでは、町の取り組みに助言をしながら、栽培説明会を行いました。事前に、JA 広報への折り込み、新聞への広告などを行い、当日昼の部、夜の部合わせて6名の方が集まってくれました。昼の部では、現地圃場の栽培の現状をみてもらいました。皆さん、植え方とか質問も多くでて、イチジクに高い関心を持っていることがわかりました。

安芸市東川酒米研究会現地検討会の開催



収穫目の酒米を前に熱心に議論する。

9月4日に東川酒米研究会(有沢光喜会長、10名)主催で生産者、4酒造会社、市役所、農協、当振興センターの計16名が集い、収穫前の酒米品種‘吟の夢’の作柄状況を見てまわりました。

現地視察後、当振興センターから今年の生育状況と気象、また7月に地元農協と行った葉色調査の結果、今後収穫の管理について話をしたところ、生産者からは追肥が必要なのはわかるけど倒伏が怖いので施肥はようやらんという声が聞かれました。また、酒造メーカーからはまずまずのできだと思うので最後まで気を抜かずにこのいい状態で蔵まで入れて欲しいとの談がありました。

奈半利町大原・西ノ平地区集落営農ビジョンの策定（SWOT分析の実施）



アイデア出しをする推進委員

奈半利町大原・西ノ平地区は、本年度、こうち型集落営農モデル育成事業のモデル集落に選定され、現在、集落営農ビジョンの策定に取り組んでいる。

9月7日と16日には、地区推進委員、奈半利町、JA支所、振興センターが参集し、集落の現状把握や課題の整理、課題解決に向けたアイデア出しなどを目的にSWOT分析を実施した。

今後は、SWOT分析により整理された内容を参考に集落営農ビジョンの策定と集落営農組織の設立に向け、関係機関とともに支援をしていく。

ナスの栽培始まる！「土佐鷹」現地検討会を管内各地区で開催



「土佐鷹」の樹姿を確認し合う

土佐鷹現地検討会を9月8日～24日にかけて安芸管内各地区で5回開催し、のべ110名程度の参加者があった。

現地検討会の目的は、生産者、特に初めて「土佐鷹」を栽培する人に樹姿や栽培管理を理解してもらうためである。

まず9月～10月までの「土佐鷹」を栽培するための灌水・追肥、摘葉など樹づくりのポイントとなる栽培管理について説明を行った。その後、現地巡回として土佐鷹の栽培圃場を数カ所回り、樹勢など生育を確認し、圃場ごとの栽培管理について意見交換を行った。特徴的な活動として、芸西地区は2日に分け「土佐鷹」栽培者を全戸回り多くの圃場を見ることで、「土佐鷹」の樹姿や生育状態を生産者に理解させていた。

今後収量を上げるには初期の樹づくりが重要なため、10月も継続して「土佐鷹」現地検討会を各地区で行う予定である。